

神奈川県社会福祉協議会 第2種・第3種正会員連絡会 活動成果普及事業

「活動成果普及助成」助成団体 ホームページ掲載用報告書

団体名	公益財団法人 かながわ健康財団
事業名	私が なぜ！ どうして！ 尿もれ 尿失禁に対する医学知識を深め、 適切で、質の高い、排尿管理の方法を学ぶセミナー

事業の概要

事業の目的：

尿漏れを経験する高齢者排尿障害の頻度は高く、60歳以上の約8割の方が何らかの症状を有し、尿失禁罹患高齢者は、6～7年後には1000万人に達すると推計されています。多くの高齢者の方々が悩みを抱えています。高齢者対象の施設や地域の指導者を対象に排尿についての正しい知識、予防改善の実践法を学び習得するセミナーを実施することで、指導者等が県内の高齢者の方の快適な生活をサポートする機会とします。なお、この事業は、平成29年度に広く県民向けに開催したのですが、今回は、対象を高齢者施設及び地域で指導される方とし、内容もその旨を反映し、より波及効果の高い研修として実施しました。

取り組みの概要

日時：令和2年11月29日（日）13：30～16：00

会場：神奈川県総合医療会館 2階 会議室A

参加者：21人（申し込み32人） 主な参加者は、高齢者施設及び地域で指導されている方

内容： 1「知っておきたい 排泄機能の医学的知識」 医師 石堂 哲郎氏

2「おしっこのトラブルを解決する法 排泄ケア・骨盤底筋運動」

看護師・排尿機能検査士 新島 礼子氏

3「実践したくなる、指導したくなる応用運動 楽しくできる尿失禁予防体操」

健康運動指導士・排泄機能指導士 高垣 茂子氏

成果・参加者の様子

- ・ 高齢者対象の施設や地域の指導者を対象に排尿についての正しい知識、予防改善の実践法を学ぶことで、高齢者の排尿指導に役立て、施設等で関わる高齢者が安心して活動的に生活できるようサポートするための初めの一步になったと考えられる（アンケート結果より）。
- ・ 講義及び主催者作成のリーフレットや講師（医師 石堂哲郎氏）による資料の提供が、施設等でのマニュアル作成にも活かされたと思われる。
- ・ 専門医、看護師・排尿機能検査士、健康運動指導士・排泄機能指導士、3職種の連携により、具体的に他では学ぶことが難しい知識や実践方法を体験し吸収出来る内容となり、受講者がそれぞれの現場で実践に活かすことができたと考えられる。

今後の展望

高齢化社会が進行する中、多くの方々がQOLの高い生活を望んでいます。適切で実践的な排尿管理を普及していくことは、こうした社会的課題に応えることでありますので、令和3年度以降も引き続きセミナー開催や資料の提供することで役割を果たしていきたいと考えています。